

# 肌バリア関連遺伝子の発現解析プラン

■ 肌バリア関連9 遺伝子に特化したプランで、NGSよりも**安価に測定**

NEW

**NGS(次世代シーケンサー)プラン**

約10,000種の  
遺伝子発現の網羅解析

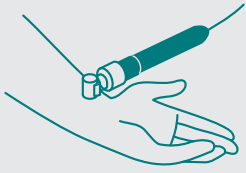

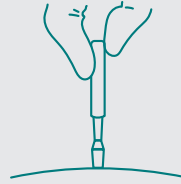

**qPCRプラン**

バリア関連遺伝子に特化  
した解析

解析対象  
遺伝子

FLG CASP14 SPTLC3 IVL CDSN  
CLDN4 ELOVL1 FAR2 DGAT2

■ 従来の肌バリア測定方法との比較

測定方法	<p>Tewameter</p> 	<p>Vapometer</p> 	<p>皮膚生検</p> 	<p>皮脂RNA バリア遺伝子</p> 
	従来の方法			
侵襲性	非侵襲	非侵襲	高侵襲	非侵襲
環境	恒温/恒湿 /事前順化	恒温/恒湿 /事前順化	医師採取	環境指定不要 採取:洗顔前
時間	数分/人	数十秒/人	数十分/人	数分/人
アウトプット	経皮水分蒸散量	経皮水分蒸散量	RNA/ タンパク質発現解析 組織解析 等	バリア9遺伝子 発現解析

■ 利用場面

- 1. バリア機能の分子機序を可視化・定量化
- 2. 経皮水分蒸散量と皮脂RNA二軸評価で深い洞察に
- 3. 経皮水分蒸散量が測れない／不安定な条件で補完的活用、当たり付けに